

(様式第1号)

指定管理者制度導入施設モニタリング票（評価対象年度:令和3年度）

施設の名称	名取市サイクルスポーツセンター
指定管理者の名称	セントラルスポーツ・HACHI・ホテル佐勘共同企業体 代表企業 セントラルスポーツ株式会社 代表取締役 後藤 聖治
施設所管部課（室）	生活経済部商工観光課

1. 管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者（管理受託者）	摘要
令和2年4月1日～	指定管理者	セントラルスポーツ・HACHI・ホテル佐勘共同企業体 代表企業 セントラルスポーツ株式会社 代表取締役 後藤 聖治	

(注) 管理形態欄には、直営・管理受託・指定管理者の別を記入

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	セントラルスポーツ・HACHI・ホテル佐勘共同企業体 代表企業 セントラルスポーツ株式会社 代表取締役 後藤 聖治
	所在地	東京都中央区新川一丁目21番2号
指定期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日（3年0ヶ月）	
募集方法	公募 ・ 非公募	

3. 施設の概要【施設所管課記入】

施設の名称	名取市サイクルスポーツセンター
所在地	名取市閑上字東須賀2-20
設置年月	令和2年10月3日
根拠条例等	名取市サイクルスポーツセンター条例
設置目的	市における地域の活性化及び市民の健康増進に資することを目的とする。
施設の内容	スポーツ・レクリエーション施設
開館時間	午前9時
休館日	無休（※日帰り温泉は毎月第2水曜日休み）
指定管理者が行う管理運営 業務	施設の使用の許可、維持・管理、その他市長が必要と認める業務
利用料金制度	採用の有無 有 ・ 無
	利用料金の名称

4. 施設の利用実績【指定管理者記入】

	評価対象年度（A）	前年度（B）	前々年度	評価対象年度の 対前年度比（%） （A） / （B）
	令和3年度	令和2年度	令和元年度	
開催日数	365日	174日		209.8%
延べ利用者数	142,543人	84,390人		168.9%
利用者数（人/日）	390.5人/日	485.0人/日		80.5%
主な増減原因	令和2年度は10月～3月の半年間の営業であったが、令和3年度は4月～3月まで1年間営業した為開催日数と延べ利用者数が増えた。			

（注）対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入すること。

5. 管理運営の収支状況【指定管理者記入】

（1）収入

（単位：千円、%）

	評価対象年度（A）	前年度（B）	前々年度	評価対象年度の 対前年度比（%） （A） / （B）
	令和3年度	令和2年度	令和元年度	
指定管理料	148,500	110,000		135.0%
利用料金収入	-	-		-
その他	-	-		-
収入計（ア）	148,500	110,000		135.0%

（2）支出

人件費	84,866	60,566		140.1%
施設管理費	36,862	19,308		190.9%
事業運営費	23,680	23,864		99.2%
その他	-	-		-
支出計（イ）	145,408	103,738		140.2%

（3）収支

収支（ウ） = （ア） - （イ）	3,092	6,262		49.4%
前期繰越収支差額	6,262	-		
次期繰越収支差額	9,354	6,262		

6. サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取り組み【指定管理者記入】

- <自転車>
 - ・MTB体験会6/27(日)実施。・乗れない子の自転車教室開催(7月、8月、11月、12月 計7回実施)
 - ・荒浜域内モニターツアー11/20(土)、11/27(土)実施。JR荒浜域内モニターツアー11/14(日)、11/28(日)実施。
 - ・おもしろ自転車&屋外施設自転車増台。
- <温泉>
 - ・毎月のイベント湯の実施。・日帰り温泉パックツアー実施(10月、2月、3月)・温泉ソムリエ取得・コンディショナー導入
- <イベント>
 - ・キッズサマー&スプリングキャンプ実施(7月、8月、3月)
 - ・10月アニバーサリー(キッチンカー出店、来場者飴玉プレゼント、ショップセール、カーナ君来園、レストランクーポン配布)
 - ・新春振舞い(1/1(土)~1/3(月))
- <宿泊>
 - ・みやぎ宿泊割前売り券販売(753セット)・折込チラシ9,000部・宿泊台帳にDM有・無記載に追加
- <レストラン>
 - ・世界のおもてなし料理提供(宮農レシピ)・七夕期間限定メニュー・オリジナルうどん開発・ソフトクリーム販売実施
- <ショップ>
 - ・鳴子温泉郷のこけし・閑上佐々木酒造の地酒・宮城マイクロブルワリー地ビール・和食器

7. 施設利用者の主な声やその対応状況【指定管理者記入】

- <自転車>
 - ・利用者の安全の為、サイクリングロードに逆走禁止の看板を設置。
 - ・サイクル倉庫横導線上及びおもしろ自転車広場に、利用者へ向けた案内文の看板を設置。設置後、来場者から利用方法が分かりやすくなったとの声をいただいている。
- <温泉>
 - ・「お客様アンケート」の要望を受け、カウンター前に荷物置き設置。
 - 他、リンスインシャンプーをシャンプーとコンディショナーに区別し、質の向上に努めている。
- <宿泊>
 - ・「お客様アンケート」の要望を受け、部屋で利用する湯沸かしポットの数を増やした。

8. 施設の管理運営における課題【指定管理者記入】

- ・宿泊者への食事メニュー対応。洋食だけではなく、和食の検討必要。
- ・コロナ後の営業を見据えた宿泊事業の営業活動。(団体顧客の獲得、全国からの誘致、インバウンド受け入れ準備)
- ・温泉利用者促進策の対応。

9. 管理運営状況【施設所管課及び指定管理者記入】

評価項目		着眼点	自己 評価	所管 評価
1. 実施 体制に 関する 評価	管理運営体制	管理運営に必要な人員配置、組織体制を整備している。	○	○
		業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	○	○
		各種管理記録を適切に整備、保管している。	○	○
	施設等の維持 管理等	施設、設備等の清掃、保守点検、修繕等を適切に行っている。	○	○
	安全対策	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	◎	◎
	個人情報の 保護	個人情報の管理を適切に行っている。	○	○
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	○	○
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	○	○
		法令等の遵守	特定の者に有利又は不利な取扱いをしていない。	○
	法令等の遵守	開館時間、休館日、使用許可等の運用が法令等に基づき適正に行われている。	○	○
その他、関係法令等が遵守されている。		○	○	
2. サー ビスの 内容や 水準に 関する 評価		指定事業の 実施	事業計画書等に基づき適切に事業を実施している。	◎
	業務の再委託は事前に市の承諾を受け、委託先の業務を適切に管理している。		○	○
	自主事業の 実施	施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	○	○
	利用者の満足 度向上	利用者の満足度向上に向けた取組みを行っている。	○	○
	利用者の苦情、 要望等の把握 とその対応	利用者アンケートなど、利用者ニーズの把握にむけた取組みを実施している。	○	○
		苦情、要望等について、受付窓口の整備や対応を適切に行っている。	○	○
	利用状況等	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	△	△
3. 経営 状況に 関する 評価	収支状況等	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	○	○
		経費の節減や使用料収入の向上に向けた取組みを行っている。	◎	◎
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	○	○

【評価の基準(目安)】

評価		評価の考え方
◎	(優良)	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○	(良好)	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△	(課題有)	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
×	(要改善)	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかったため、改善を要する。

※該当しない項目については、「―」を記入する。

10. 施設所管課の総合評価【施設所管課記入】

令和2年10月からオープンし3年度末で1年半を経過することとなるが、新型コロナウイルス感染症が蔓延する中対策を講じ、感染等のトラブルを防ぎながら施設管理に努め、大きな事故等は生じていない。

利用人数としては、目標の217,000人に対し142,543人とコロナ禍の影響もあり目標値には届かなかった。しかしながら、屋外施設、日帰り温泉、宿泊の各施設において自主事業を実施し集客に努めた。

※以下、個別評価について

○実施体制に関する評価
 受付、屋外施設、宿泊対応等様々な業務がある中、限られた人員を配置し適正な管理運営を行っており良好と評価した。

○サービスの内容や水準に関する評価
 施設利用者への要望や苦情に真摯に対応し、アンケートの結果についても施設・清掃・接客の満足など良好な結果を得ており、既存サービスの維持・向上に努めていることから良好と判断した。

○経営状況の評価
 修繕箇所への対応などは可能な限り直営で行うよう努め、また自主事業について各種サイクリングイベントの実施やショップの商品充実などにより、集客効果を図ったことについて評価できる。今後も、アフターコロナのインバウンドや、周辺観光施設との連携も含め利用促進を期待する。